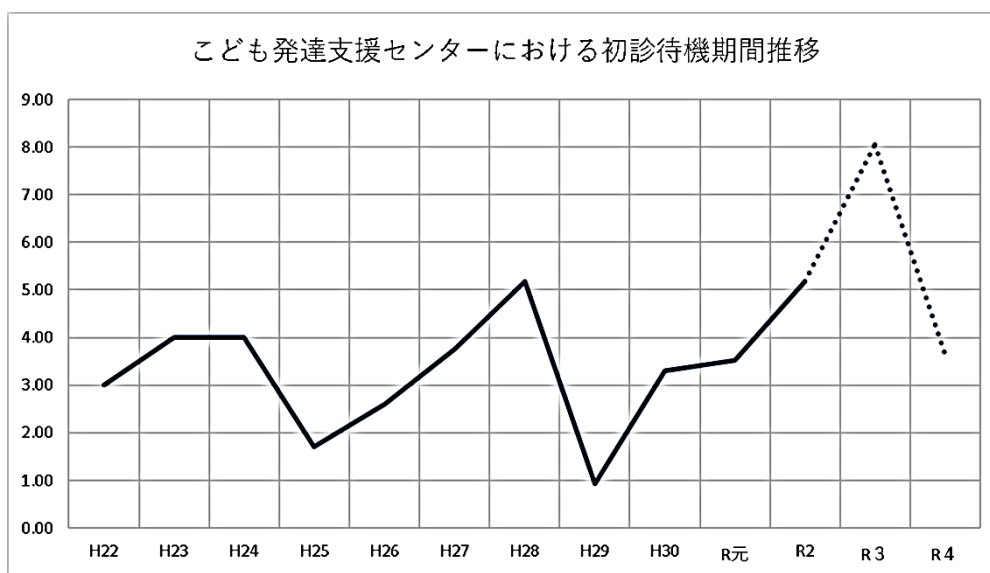


# 発達障害児支援医療・福祉・教育等連携強化事業費

予算額 5,000千円

## 1 現状と課題

- 府立こども発達支援センターを始め、発達障害児の専門医療機関では、診療ニーズ増加に伴い初診待機が長期化
  - 増加するセンターへの診療ニーズに対しては、① 初診枠を増やす  
② 初診時間を減らす  
③ 初診申込数を減らす
- ため、他医療機関を含めた地域ぐるみの診療前後の連携体制づくりが急務



## 2 事業概要

- こども発達支援センターの常勤精神科医及び非常勤看護師各1名を増員し
  - ① 診療体制を拡充 (現状: 常勤3名、非常勤2名 → 常勤1名を追加)
  - ② センターが参画する保健・福祉・教育等関係機関の連携体制の構築
    - ・ 診療への入口・出口支援の円滑な実施に向けた協議の場の設定
  - ③ 発達障害児の診療・診断を行う専門医の育成
    - ・ 地域の医療機関の医師の診察への陪席による実地研修